

MeBio 数学テキスト

慶応大学医学部入試数学
2018年3番について

—背景—

第 1 章

問題と解答

§ 1 問題と解答

+問題 1-1-1 以下の文章の空欄の $\boxed{\text{ (け) }}$ には適切な式を, それ以外には適切な数を入れて文章を完成させなさい.

(1) x を実数として

$$f(x) = \sin x \sin 2x \sin 3x$$

とおく. このとき

$$f(x) = \boxed{\text{ (あ) }} \sin 2x + \boxed{\text{ (い) }} \sin 4x + \boxed{\text{ (う) }} \sin 6x$$

と書くことができる. p を $f(p) = 0$ を満たす最小の正の数とすると, 曲線 $y = f(x)$ ($0 \leq x \leq p$) と x 軸で囲まれた部分の面積は $\boxed{\text{ (え) }}$ である.

(2) x を実数として

$$g(x) = -\sin x \sin 2x + \sin 2x \sin 3x - \sin 3x \sin x$$

とおく. このとき

$$g(x) = \boxed{\text{ (お) }} (\cos 2x + \cos 5x) + \boxed{\text{ (か) }} \cos 3x + \boxed{\text{ (き) }} \cos 4x$$

と書ける. また $g\left(\frac{\pi}{7}\right) = \boxed{\text{ (く) }}$ である.

(3) α, β, γ を実数として

$$A = \sin \alpha + \sin \beta + \sin \gamma$$

$$B = \cos 2\alpha + \cos 2\beta + \cos 2\gamma$$

$$C = \sin \alpha \sin \beta + \sin \beta \sin \gamma + \sin \gamma \sin \alpha$$

とおく. C を A, B の式で表すと, $C = \boxed{\text{ (け) }}$ である.

以下, $\alpha = \frac{\pi}{7}, \beta = -\frac{2\pi}{7}, \gamma = -\frac{3\pi}{7}$ のときを考える. i を虚数単位として, $z = \cos \frac{2\pi}{7} + i \sin \frac{2\pi}{7}$ と

おくと, $\sum_{k=1}^7 z^k = \boxed{\text{ (こ) }}$ であり, このことから上記の α, β, γ の値に対して B の値を求めると, $B = \boxed{\text{ (さ) }}$

である. $g\left(\frac{\pi}{7}\right) = C$ であることと, A の符号に注意すると, A の値は $\boxed{\text{ (し) }}$ である. このことから $f\left(\frac{\pi}{7}\right)$ の値は $\boxed{\text{ (す) }}$ である.

略解

- (1) (あ) $\frac{1}{4}$ (い) $\frac{1}{4}$ (う) $-\frac{1}{4}$ (え) $\frac{9}{32}$
 (2) (お) $-\frac{1}{2}$ (か) $\frac{1}{2}$ (き) $\frac{1}{2}$ (く) 0
 (3) (け) $\frac{1}{2}A^2 + \frac{1}{4}B - \frac{3}{4}$ (こ) 0 (さ) $-\frac{1}{2}$ (し) $-\frac{\sqrt{7}}{2}$ (す) $\frac{\sqrt{7}}{8}$

解答

(1) 積和の公式より

$$\begin{aligned} f(x) &= \sin x \sin 2x \sin 3x = \frac{1}{2}(\cos x - \cos 3x) \sin 3x \\ &= \frac{1}{2} \cos x \sin 3x - \frac{1}{2} \cos 3x \sin 3x = \frac{1}{4}(\sin 2x + \sin 4x) - \frac{1}{4} \sin 6x \\ &= \frac{1}{4} \sin 2x + \frac{1}{4} \sin 4x - \frac{1}{4} \sin 6x \end{aligned}$$

$p = \frac{\pi}{3}$ は容易にわかるので、求める面積 S は

$$\begin{aligned} S &= \int_0^{\frac{\pi}{3}} f(x) dx = \int_0^{\frac{\pi}{3}} \left(\frac{1}{4} \sin 2x + \frac{1}{4} \sin 4x - \frac{1}{4} \sin 6x \right) dx \\ &= \left[-\frac{1}{8} \cos 2x - \frac{1}{16} \cos 4x + \frac{1}{24} \cos 6x \right]_0^{\frac{\pi}{3}} \\ &= \left(-\frac{1}{8} \cos \frac{2}{3}\pi - \frac{1}{16} \cos \frac{4}{3}\pi + \frac{1}{24} \cos 2\pi \right) - \left(-\frac{1}{8} - \frac{1}{16} + \frac{1}{24} \right) \\ &= \frac{1}{16} + \frac{1}{32} + \frac{1}{24} + \frac{1}{8} + \frac{1}{16} - \frac{1}{24} \\ &= \frac{9}{32} \end{aligned}$$

(2) やはり積和の公式より

$$\begin{aligned} g(x) &= -\sin x \sin 2x + \sin 2x \sin 3x - \sin 3x \sin x \\ &= \frac{1}{2}(\cos 3x - \cos x) + \frac{1}{2}(\cos x - \cos 5x) + \frac{1}{2}(\cos 4x - \cos 2x) \\ &= -\frac{1}{2}(\cos 2x + \cos 5x) + \frac{1}{2} \cos 3x + \frac{1}{2} \cos 4x \end{aligned}$$

すると $g\left(\frac{\pi}{7}\right) = -\frac{1}{2}\left(\cos \frac{2}{7}\pi + \cos \frac{5}{7}\pi\right) + \frac{1}{2}\frac{3}{7}\pi + \frac{1}{2}\frac{4}{7}\pi$ ということになるが、 $\cos \frac{5}{7}\pi = -\cos \frac{2}{7}\pi$,

$\cos \frac{4}{7}\pi = -\cos \frac{3}{7}\pi$ であるから $g\left(\frac{\pi}{7}\right) = 0$ である。

(3) (け) について

$$\begin{aligned} A^2 &= (\sin \alpha + \sin \beta + \sin \gamma)^2 \\ &= \sin^2 \alpha + \sin^2 \beta + \sin^2 \gamma + 2 \sin \alpha \sin \beta + 2 \sin \beta \sin \gamma + 2 \sin \alpha \sin \gamma \\ &= \frac{1 - \cos 2\alpha}{2} + \frac{1 - \cos 2\beta}{2} + \frac{1 - \cos 2\gamma}{2} + 2C \\ &= \frac{3}{2} - \frac{1}{2}B + 2C \end{aligned}$$

従って $C = \frac{1}{2}A^2 + \frac{1}{4}B - \frac{3}{4}$ であることが分かる.

(こ) はもちろん $\sum_{k=1}^7 z^k = z \frac{1-z^7}{1-z} = 0$ である. この実部を考えると

$$\cos \frac{2\pi}{7} + \cos \frac{4\pi}{7} + \cos \frac{6\pi}{7} + \cos \frac{8\pi}{7} + \cos \frac{10\pi}{7} + \cos \frac{12\pi}{7} + \cos \frac{14\pi}{7} = 0$$

ということになるが, $\cos \frac{2\pi}{7} = \cos \frac{12\pi}{7} = \cos 2\alpha$, $\cos \frac{4\pi}{7} = \cos \frac{10\pi}{7} = \cos 2\beta$, $\cos \frac{6\pi}{7} = \cos \frac{8\pi}{7} = \cos 2\gamma$, $\cos \frac{14\pi}{7} = 1$ であるから, $B = \cos 2\alpha + \cos 2\beta + \cos 2\gamma = -\frac{1}{2}$ であることがわかる.

また

$$\begin{aligned} g\left(\frac{\pi}{7}\right) &= -\sin \frac{\pi}{7} \sin \frac{2\pi}{7} + \sin \frac{2\pi}{7} \sin \frac{3\pi}{7} - \sin \frac{3\pi}{7} \sin \frac{\pi}{7} \\ &= \sin \frac{\pi}{7} \sin\left(-\frac{2\pi}{7}\right) + \sin\left(-\frac{2\pi}{7}\right) \sin\left(-\frac{3\pi}{7}\right) + \sin\left(-\frac{3\pi}{7}\right) \sin \frac{\pi}{7} \\ &= C = 0 \end{aligned}$$

もわかっている. これらを $C = \frac{1}{2}A^2 + \frac{1}{4}B - \frac{3}{4}$ に代入すると $0 = \frac{1}{2}A^2 + \frac{1}{4}\left(-\frac{1}{2}\right) - \frac{3}{4} \iff A^2 = \frac{7}{4}$

を得る. つまり $A = \pm \frac{\sqrt{7}}{2}$ であるが, 明らかに $A < 0$ であるから $A = -\frac{\sqrt{7}}{2}$ とわかる.

(1) の結果より

$$\begin{aligned} f\left(\frac{\pi}{7}\right) &= \frac{1}{4} \left(\sin \frac{2\pi}{7} + \sin \frac{4\pi}{7} - \sin \frac{6\pi}{7} \right) = \frac{1}{4} \left(\sin \frac{2\pi}{7} + \sin \frac{3\pi}{7} - \sin \frac{\pi}{7} \right) \\ &= -\frac{A}{4} = \frac{\sqrt{7}}{8} \end{aligned}$$

とわかった.

【18 慶應】 M_keiou_2018_03.mdf

§2 気になった点

誘導に従えば自動的に答えにたどり着くが, いったい何を目標にして何が分かったのかが非常にわかりにくい. そこを考えてみた.

$\zeta_7 = \cos \frac{2\pi}{7} + i \sin \frac{2\pi}{7}$ とする. $\mathbb{Q}(\zeta_7)$ は \mathbb{Q} 上の 6 次巡回拡大であり, 2 次の部分体として $\mathbb{Q}(\sqrt{-7})$ を持つ.

実際 $\sqrt{-7}$ は Gauss 和として $-(\zeta_7)^3 + (\zeta_7)^2 - (\zeta_7)^6 + (\zeta_7)^4 - (\zeta_7)^5 + (\zeta_7) = \sqrt{-7}$ のように表される.

しかし $\sqrt{7}$ は $\mathbb{Q}(\zeta_7)$ の元ではない. $\sqrt{7}$ を三角関数の和で表そうと思えば $K = \mathbb{Q}(\zeta_7, i)$ を考えないといけない.

そうすると $\sqrt{7}$ を K の元として表示することができるわけだが, $\sqrt{7}$ は実数だから $K \cap \mathbb{R}$ の元になっている.

そして $K \cap \mathbb{R}$ は \mathbb{Q} の 6 次拡大, $\mathbb{Q}(\sqrt{7})$ の 3 次拡大であり, \mathbb{Q} のベクトル空間の基底として $\cos \frac{2\pi}{7}$, $\cos \frac{4\pi}{7}$, $\cos \frac{6\pi}{7}$, $\sin \frac{2\pi}{7}$, $\sin \frac{4\pi}{7}$, $\sin \frac{6\pi}{7}$ が取れる. だから $\sqrt{7}$ はこの 6 つの有理数係数の線形和で一意的に表されるのである.

真の問題

$\sqrt{7}$ を $\cos \frac{2\pi}{7}$, $\cos \frac{4\pi}{7}$, $\cos \frac{6\pi}{7}$, $\sin \frac{2\pi}{7}$, $\sin \frac{4\pi}{7}$, $\sin \frac{6\pi}{7}$ の有理数係数の線形和で表せ. □

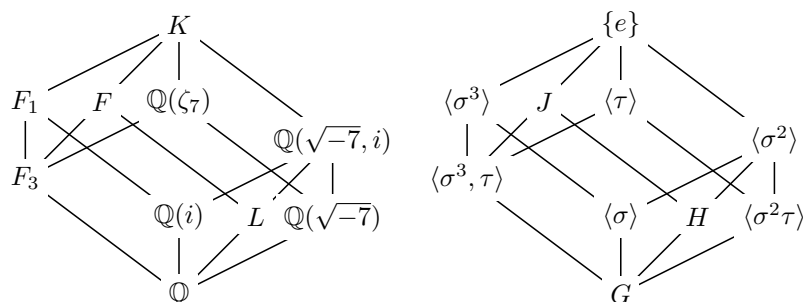
最初は $K = \mathbb{Q}(\zeta_7, i)$ を考えようとしたのだが、よくよく考えれば $i = (\zeta_{28})^7$ であり、 $K = \mathbb{Q}(\zeta_{28})$ に過ぎないと気づいた。そして $\text{Gal}(K/\mathbb{Q}) = (\mathbb{Z}/28\mathbb{Z})^\times \simeq (\mathbb{Z}/7\mathbb{Z})^\times \times (\mathbb{Z}/4\mathbb{Z})^\times$ が $\mathbb{Q}(\zeta_{28}) = \mathbb{Q}(\zeta_7, i)$ であることに対応している。

$\zeta = \zeta_{28} = \cos \frac{2\pi}{28} + i \sin \frac{2\pi}{28}$ とおく。 $\text{Gal}(K/\mathbb{Q}) = (\mathbb{Z}/28\mathbb{Z})^\times \ni \bar{k}$ は $\zeta \rightarrow \zeta^k$ で定義される。 $\zeta_7 = \zeta^4, i = \zeta^7$ である。

$\text{Gal}(\mathbb{Q}(\zeta_7)/\mathbb{Q}) \simeq \mathbb{Z}/6\mathbb{Z}$ は $\sigma: \zeta_7 \rightarrow (\zeta_7)^3$ で生成されるが、これを $\mathbb{Q}(i)$ には自明に作用するように延長する。つまり $\sigma: \zeta_7 \rightarrow (\zeta_7)^3, i \rightarrow i$ であり、これは $\overline{17} \in (\mathbb{Z}/28\mathbb{Z})^\times$ に対応する。

また $\text{Gal}(\mathbb{Q}(i)/\mathbb{Q}) = \{e, \tau\}$ とし、 τ を $\mathbb{Q}(\zeta_7)$ を不変にするように延長する。つまり $\sigma: \zeta_7 \rightarrow \zeta_7, i \rightarrow -i$ であり、これは $\overline{15} \in (\mathbb{Z}/28\mathbb{Z})^\times$ に対応する。

$\text{Gal}(K/\mathbb{Q}) = \langle \sigma, \tau \mid \sigma^6 = \tau^2 = e, \sigma\tau = \tau\sigma \rangle$ であり、体と群の対応は次のようになっている。



群	体
$\{e\}$	$K = \mathbb{Q}(\zeta) = \mathbb{Q}(\zeta_7, i)$
$\langle \tau \rangle$	$\mathbb{Q}(\zeta_7)$
$J = \langle \sigma^3 \tau \rangle$ 複素共役	$F = \mathbb{Q}\left(\cos \frac{2\pi}{7}, \sqrt{7}\right) = K \cap \mathbb{R}$ 最大実部分体
$\langle \sigma^3 \rangle$	$F_1 = \mathbb{Q}\left(\cos \frac{2\pi}{7}, i\right)$
$\langle \sigma^2 \rangle$	$\mathbb{Q}(\sqrt{-7}, i)$
$\langle \sigma^3, \tau \rangle$	$F_3 = \mathbb{Q}\left(\cos \frac{2\pi}{7}\right) = \mathbb{Q}(\zeta_7) \cap \mathbb{R}$
$\langle \sigma \rangle$	$\mathbb{Q}(i)$
$\langle \sigma^2 \tau \rangle$	$\mathbb{Q}(\sqrt{-7})$
$H = \langle \sigma \tau \rangle$	$\mathbb{Q}(\sqrt{7})$
G	\mathbb{Q}

これで問題がはっきりしてきた。 $\sin \frac{2\pi}{7} = \frac{\zeta_7 - \overline{\zeta_7}}{2i} \in \mathbb{Q}(\zeta_7, i) \cap \mathbb{R} = F$ であるが、 $L = \mathbb{Q}(\sqrt{7})$ には含まれない (後述)。そこで3次拡大 F/L における共役元やノルム、トレースを考えようというのが背景である。

$H = \langle \sigma \tau \rangle$ なので、作用させてみよう。

$$\sigma\tau \left(\sin \frac{2\pi}{7} \right) = \sigma\tau \left(\frac{\zeta_7 - \bar{\zeta}_7}{2i} \right) = \frac{(\zeta_7)^3 - \overline{(\zeta_7)^3}}{-2i} = -\sin \frac{6\pi}{7}$$

$$(\sigma\tau)^2 \left(\sin \frac{2\pi}{7} \right) = \sigma^2 \left(\frac{\zeta_7 - \bar{\zeta}_7}{2i} \right) = \frac{(\zeta_7)^9 - \overline{(\zeta_7)^9}}{2i} = \sin \frac{4\pi}{7}$$

$$(\sigma\tau)^3 \left(\sin \frac{2\pi}{7} \right) = \sigma^3 \tau \left(\frac{\zeta_7 - \bar{\zeta}_7}{2i} \right) = \frac{(\zeta_7)^{27} - \overline{(\zeta_7)^{27}}}{-2i} = \frac{(\zeta_7)^{-1} - \overline{(\zeta_7)^{-1}}}{-2i} = \frac{\bar{\zeta}_7 - \zeta_7}{-2i} = \sin \frac{2\pi}{7}$$

実際 $\mathbb{Q}(\zeta_7)$ に関する Gauss 和は $-(\zeta_7)^3 + (\zeta_7)^2 - (\zeta_7)^6 + (\zeta_7)^4 - (\zeta_7)^5 + (\zeta_7) = \sqrt{-7}$ なので,

$$\mathrm{Tr}_{F/L} \left(\sin \frac{2\pi}{7} \right) = \frac{(\zeta_7) - (\zeta_7)^6 + (\zeta_7)^4 - (\zeta_7)^3 + (\zeta_7)^2 - (\zeta_7)^5}{2i} = \frac{\sqrt{7}}{2}$$

である.

§ 3 別解

$-(\zeta_7)^3 + (\zeta_7)^2 - (\zeta_7)^6 + (\zeta_7)^4 - (\zeta_7)^5 + (\zeta_7) = \sqrt{-7}$ であったから

$$\sqrt{7} = \frac{-(\zeta_7)^3 + (\zeta_7)^2 - (\zeta_7)^6 + (\zeta_7)^4 - (\zeta_7)^5 + (\zeta_7)}{i}$$

である. $\zeta_7 = \zeta^4, i = \zeta^7$ を代入して変形していく. ($\zeta^{14} = -1$ に注意)

$$\begin{aligned} & \sqrt{7} \\ &= \frac{-(\zeta_7)^3 + (\zeta_7)^2 - (\zeta_7)^6 + (\zeta_7)^4 - (\zeta_7)^5 + (\zeta_7)}{i} \\ &= \frac{-\zeta^{12} + \zeta^8 - \zeta^{24} + \zeta^{16} - \zeta^{20} + \zeta^4}{\zeta^7} \\ &= -\zeta^5 + \zeta - \zeta^{17} + \zeta^9 - \zeta^{13} + \zeta^{-3} \\ &= -\zeta^5 + \zeta + \zeta^3 - \zeta^{-5} + \zeta^{-1} + \zeta^{-3} \\ &= (\zeta + \zeta^{-1}) - (\zeta^5 + \zeta^{-5}) + (\zeta^3 + \zeta^{-3}) \\ &= 2 \cos \frac{\pi}{14} - 2 \cos \frac{5\pi}{14} + 2 \cos \frac{3\pi}{14} \\ &= 2 \sin \left(\frac{\pi}{2} - \frac{\pi}{14} \right) - 2 \sin \left(\frac{\pi}{2} - \frac{5\pi}{14} \right) + 2 \sin \left(\frac{\pi}{2} - \frac{3\pi}{14} \right) \\ &= 2 \sin \frac{3\pi}{7} - 2 \sin \frac{\pi}{7} + 2 \sin \frac{2\pi}{7} \\ &= 2 \sin \frac{4\pi}{7} - 2 \sin \frac{6\pi}{7} + 2 \sin \frac{2\pi}{7} \end{aligned}$$

§ 4 猛反省

ここまで書いて実は全く自明であることに気づいた. Gauss 和

$$-(\zeta_7)^3 + (\zeta_7)^2 - (\zeta_7)^6 + (\zeta_7)^4 - (\zeta_7)^5 + (\zeta_7) = \sqrt{7}i$$

の虚部を比較すると

$$\begin{aligned} & -\sin \frac{6\pi}{7} + \sin \frac{4\pi}{7} - \sin \frac{12\pi}{7} + \sin \frac{8\pi}{7} - \sin \frac{10\pi}{7} + \sin \frac{2\pi}{7} = \sqrt{7} \\ \Leftrightarrow & -\sin \frac{6\pi}{7} + \sin \frac{4\pi}{7} + \sin \frac{2\pi}{7} - \sin \frac{6\pi}{7} + \sin \frac{4\pi}{7} + \sin \frac{2\pi}{7} = \sqrt{7} \\ \Leftrightarrow & \sin \frac{2\pi}{7} + \sin \frac{4\pi}{7} - \sin \frac{6\pi}{7} = \frac{\sqrt{7}}{2} \end{aligned}$$

である。以上、おしまい。(チャンチャン)